FAX 番号:

2012年 2月17日 (金) 22:45

お母さん！ お父さん！ お子さんの放射能被害、心配しないでいますか？ 幼稚園、保育所、学校の対策に安心できますか？

仙台市の学校給食についての要望

現在、子どもたちの給食食材については、米や牛乳を始めとして大部分が東日本の食材となっており、最近の宮城県の牛乳からは２０ベクレル/kg程の放射性物質が検出されています。仙台市では週１回２～３品の頻度で放射性物質検査を実施していただいておりますが、検査品目の数、頻度および機器の検出限界等、検査体制が十分といえず、現状のままでは、被曝感度が大人の３～４倍といわれている子どもたちに、学校給食を安心して毎日食べさせることができません。

放射能に関して安全と言うのは簡単ですが、それを証明することは簡単ではないはずです。子どもたちの食べ物に日々気を遣い心配している保護者の思いを受け止め、牛乳をはじめとする食品の安全性を明確に証明し約束していただくことが、行政に対しての保護者の強い望みです。仙台の子どもたちの５年後、１０年後の健康の保証を約束していただきたいと切実に願います。

つきましては、保護者より下記の通り要望致します。

＜要望項目＞

（1） 現行の測定に加え、給食センター（自校式の場合は学校）毎に、精度の高い検出器（できればゲルマニウム半導体検出器）を導入し、ミキサーで混ぜ合わせた献立毎のベクレル値を測定し、安全性を確認した上で、供給する。

※ 横須賀市や藤沢市等、効率的なこの方法を取り入れています。

（2） きのこや東日本太平洋の魚等、汚染度が高そうな食材については、個別測定を実施する。

（3） 牛乳及び米については、毎日摂取するものであるため、毎日厳密な測定を実施する。

（4） 全ての測定値については、仙台市ホームページ等で市民に公開する。

（5） 食材の安全性を確認する基準については、可能な限り低く設定する。また、基準を超えるものがあれば、直ちに供給停止とする。

（6） 上記測定環境が整うまでは、汚染されていない東日本以外の地域（北海道、西日本等）から食材を購入する。また、測定環境が整った後、基準を超えることが続く場合も、同様の対応とする。

（7） 可能な限り偽装のない業者を選定すると共に、偽装が発覚した場合は速やかに業者を変更する。また、業者の選定基準ならびに監督責任を明確化する。

（8） これまでの給食（特に牛乳）による被曝の影響が懸念されるため、子どもたちの継続的な健康調査を実施する。

以 上

以下、保護者有志一同

仙台市立片平丁小学校	児童保護者	１７名	仙台市立大野田小学校	児童保護者	１名
仙台市立中田小学校	児童保護者	１２名	仙台市立若林小学校	児童保護者	１名
仙台市立立町小学校	児童保護者	１０名	仙台市立袋原小学校	児童保護者	１名
[illegible]町通小学校	児童保護者	[illegible]	仙台市立連坊小[illegible]	[illegible]護者	１名

私たちは、子どもたちの被曝を心配して、最近行動し始めた、ママ、パパのグループです。昨日は、このような内容の要望書を、教育委員会に提出し、お話をしてきました。まだ始まったばかりで手さぐりです。

このチラシを見てわかるように、ハイパーアナログ集団です。まだ会の名前もありません。

でも、一人で悩んでいる方、学校に声をあげられない方、いっしょに考えていきませんか？

ご連絡下さい。

setsuko.enta@apost.plala.or.jp
遠田